

# 山 口 新 聞

平成 29 年 4 月 8 日 (土)

NO.244



農地・水・環境

## 守ろう 地域の手で



244

西河内東地区は周南市鹿野北部に位置し、国道31号沿いの南北3キロにわたる集落である。近年、高齢化の進行とともに農業従事者

用水路は1965年ごろ、住民総出でコンクリート水路に更新した経緯がある。

その水路も摩耗が激しく、所々に漏水が発生。将来に

向け豊かな農地を守っていくには、水路の保全が地区最大の課題となっている。山裾に曲がりくねる水路

化の進行とともに農業従事者が減少する中で、特に農業用水路の維持管理に力を入れて活動している。

水田を潤す総延長4キロの用水路は、1965年ごろ、住民総出でコンクリート水路に更新した経緯がある。その水路も摩耗が激しく、所々に漏水が発生。将来に向け豊かな農地を守っていくには、水路の保全が地区最大の課題となっている。山裾に曲がりくねる水路



上 会員の皆さん  
下 用水路の補修

## 水路維持し技能を伝承

西河内東地区農用地保全会(周南市)

【メモ】代表＝福本哲明▽会員＝19人、農家（13戸）、非農家（3人）、ふくふくファーム（有）鹿野アグリ、西河内自治会▽設立＝2007年6月29日▽連絡先＝周南市大潮727、福本哲明さん、電話0834・68

（会計、桑原文孝）

は機械での作業が困難で、人力主体の作業は重労働。幸いにも地区には技能技術者の経験者がおり、型枠の組み方、鍤の使い方、勾配の整え方などの土木作業技能を、60歳の「若者」を始めとした構成員に伝え、自ら施工している。

施設の維持を図りながら技能を後継者に伝承し、豊かな農業環境を将来に引き継ぐために、今の活動をしつかり行っていきたい。